

●とびっくす●

令和4年度 通常総会開催

まちかど編集部

令和4年度の通常総会が、6月4日にホテルクレメント徳島にて開催されました。今年もハガキによる表決方式を採用し、規模を縮小しての開催となりました。

はじめに、坂口会長よりご挨拶があり、続いて本会活動に貢献のあった11名の方々が会長表彰を受けました。

議事では、令和3年度事業報告、決算報告およびその他の議案が承認後、令和4年度事業計画および収支予算が報告されました。

また本年度は役員改選の年であり、前期に引き続き、坂口会長が再任されました。再任のご挨拶の中で、コロナ禍で十分な活動ができなかったせいも、会員も減少傾向にあるので、この2年でまた活動を増やしていき、会員減少に歯止めをかけていきたいとの力強いお言葉もありました。

(なお、新役員につきましては士会ホームページに掲載されております)

最後は、毎年恒例のラッキー抽選会が行われました。

今年は出欠ハガキと会場のくじの組み合わせ抽選となりました。黄色い小さな抽選器を、運命の福男・竹内氏がガラガラと回し、当選番号が発表されるたびに会場から歓声が上がりました。

今回、特賞は阿南・那賀地域会の青木晃氏、一等賞は徳島地域会の高田哲生氏が当選されました。

会長表彰 被表彰者（順不同、敬称略）

徳島地域会	伊月 善彦
	高田 知子
鳴門地域会	山本 大輔
小松島・勝浦地域会	桂 剛
阿南・那賀地域会	中西 一浩
海部地域会	井口 泰明
板野地域会	久米 秀文
川島地域会	佐藤 博
美馬地域会	向井 修
三好地域会	大岡 将友
青年委員会	日野かおり



会長挨拶



会長表彰



ラッキー抽選会



特賞の青木さん

●ほっとにゆーす●

令和4年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック高知大会 その1

徳島支部 岩本 祥一

令和4年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック高知大会が6月11～12日の2日間、開催されました。新型コロナウイルスの影響で、2年間開催できなかったため、今回は3年ぶりの開催となりました。

また、以前のまちかどでも徳島大会実行委員長の中川さんから案内がありましたが、来年は徳島が担当で開催されます。

そのため、今回の高知大会へは来年の徳島大会のPRもかねていたので、コロナの心配もある中で、多くの徳島県メンバーに参加してもらいました。



▲集合写真

新型コロナの流行後、初の中四国ブロック大会だったこともあり、どういう対策を行っているのか等、配慮しているところも徳島大会で活かせるよう見させてもらいました。

新型コロナの対策としては、各自マスクの徹底、施設出入口での消毒・検温、マイクは人から人へ移る段階でその都度消毒、会場とウェブ配信の同時開催、懇親会は各県ごとにテーブルに着席（例年はテーブルに異なる県のメンバーを配置）など、例年以上に神経を使いながらの運営をされていました。



▲懇親会での徳島大会のPR

写真中央は藍染版（自分で染めた）徳島大会Tシャツを着てPRをしている実行委員長の中川さん。

また、地域実践報告会について、徳島県からは三好地域会の藤川さんが発表されました。

発表内容もプレゼンも素晴らしくて、終了時間を知らせる鐘と同時のプレゼン終了にはしびれました！

審査結果は、惜しくも最優秀賞は逃しましたが、優秀賞を受賞されました！

本当におめでとうございます！！



▲プレゼンの様子



▲授賞式

今回、企画運営をされた高知県の方たちはかなり大変だったのだろうと感じるとともに、一生懸命おもてなしをしてもらったおかげで、とても充実した2日間を過ごすことができました。

来年はここ徳島で開催されます！

既に実行委員会も立ちあがり、準備期間も1年を切りました。徳島県建築士会のメンバー一丸となって、楽しんでもらえるよう最高のおもてなしをしましょう！！

●ほつとにゅーす●

令和4年度青年・女性建築士の集い中四国ブロック高知大会 その2

学生会 福地 海都

今回、初めて参加させていただいた徳島大学3年、建築士会学生会員の福地海都です。

旅の1日目は、徳島支部の方々との挨拶、名刺交換から始まりました。初めて会う方々が多い中、どの方も優しく、様々な名刺を交換できて貴重な機会となりました！

初めて訪れる高知県の昼食は、“鳥心”の“チキン南蛮”でした！想像していた3倍の量があり、苦戦しながらも最後まで美味しく頂きました！



地域実践活動報告会では、優秀賞を受賞されとても感動的でした。素晴らしいプレゼンを直接見ることができてうれしかったです！

その後、3つの分科会が開催され、自分は分科会Bの“アウトドア”へ参加しました。ジラーフユニットや防災グッズなど様々なアイデアに触れることができ、勉強になりました。



そして、懇親会へ。3年ぶりの開催ということもあり、みなさんとても楽しんでいらっしや、学生の内によい社会勉強ができたと感じました。また、自分以外にも、懇親会に学生がいると聞き、声をかけ、友達が1人増えました！



2日目は、エキスカーションに参加しました。“土佐の建築探訪”のコースを巡り、“オーテピア高知新図書館”と“高知県自治会新庁舎”を見学。実際に設計した建築士さんの話や参加された建築士の方々から、建築の意匠面、構造面、機能面など様々な見方を聞くことができ、建築の世界は面白い！とより感じました！



旅の締めは、ひろめ市場と高知県の建築見学！ずっと食べたいと思っていた、カツオのたたきを食べることができ、味も含めて最高でした！また、内藤廣が設計した高知駅や牧野富太郎記念館に加え、竹林寺を訪れました。木造架構が作る曲線空間や視覚表現に感動しました！絶対にまた訪れたいと思う建築でした。



建築士会に入会して初めての参加で、とても緊張していましたが、多くの建築士さんと交流できて、何事も思い切って参加することの大切さを知りました。

とともに、自分は建築が好きだと再認識できました！貴重な機会を与えてくださりありがとうございました！！今後も参加していき、後輩に良さを伝えていきたいと思います！

●地域会だより●

小松島の学校再編と新しいまちの姿

小松島・勝浦地域会 小川 宏樹

小松島では、教育環境の改善を目指し2012年に市立学校再編計画が策定され、市内の3中学校は2016年に2校に再編されました。また小学校は11校あったことから、再編が難航していました。昭和以降、自治体再編も無く、地元小学校が役目を終える地域では、「学校が無くなった地域が寂しくなる」という不安の声が後を絶ちませんでした。

学校再編が難航していたこの間、建築・都市計画分野では新しい制度ができました。建築分野では、2014年から全ての自治体で「公共施設等総合管理計画」の策定が求められました。これは自治体が保有する学校を含む公共施設の全体像を把握し、更新・統廃合・長寿命化を図るものです。

同様に都市計画分野でも、2014年の都市再生特別措置法改正により「立地適正化計画」制度が新設されました。これはコンパクトなまちづくりを進めるため、将来のまちの姿を見据え、拠点に誘導する施設や、その区域を検討するものです。幅広い年代の人々が集まる学校は、この区域にあることが望ましい施設と言えます。

その後の紆余曲折を経て、本年2月に市立学校再編実施計画が策定され、市内の11小学校は2033年を目処に5校に再編されることとなりました。これらと現行都市計画との関係を見ると、まちなかに1校、市街化区域縁辺もしくは市街化調整区域に4校が配置されることとなります。建築計画では、施設配置を考える際「全児童の通学距離の総和が最少になる配置」が最適解となり、児童の多い市街化区域内に多くの学校が配置される結果となります。これが教育計画では「通学困難な児童数が最少となる配置」が最適解となり、面積の広い調整区域に多くの学校が配置される結果となります。

これは、どちらかが正解ではなく、短期的には、今学校に通っている子供たちの負担が軽減される計画が望ましいと考えられます。一方で長期的には人口減少が進み、過剰となった施設の維持のことを考えると、今の子供たちが大人になった時の負担が軽減される計画が望ましいとも考えられます。

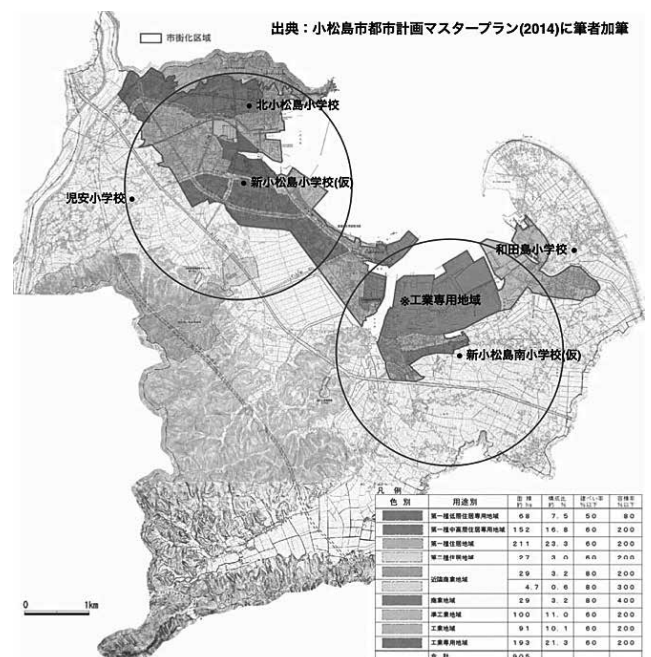
この春から小松島では、都市計画マスタープランの中間見直しと、新たに立適計画の策定が進められています。これらの計画に新築建替される2校も含む5つの小学校の配置を落とし込み、当面の目標として10年後のま

ちの姿を描くこととなります。このとき新築される2校については、建築物の耐用年数や人口趨勢からすると、次の20年、30年後も同じ場所に在り続けると予想されま

す。現行都市マスに新築2校の通学圏（児童の足で30分≒半径1.8km）を重ねると、新設の新小松島南小学校（仮）は線引きの境界に位置し、校区の大半が住宅立地の困難な工業専用地域が調整区域となっています。また本年4月から開発許可制度の見直しにより、調整区域の洪水・津波浸水想定区域で、新たな住宅立地が困難になります。

このままでは、新小松島南小（仮）校区は立適計画の対象外となり、学校周辺には新たな公共施設や公共交通の整備が困難だけでなく、通学する児童や家族のための住宅も建てられません。

この難問は小松島固有のものでなく、全てのまちに共通する問題です。そして、そのまちの小学校がどこにあるかを知っている建築・都市計画の専門家でなければ気付くことができません。さらに、解決策としての学校再編のあり方や、将来のまちの姿を考えることもできません。つまりこの問題に取り組むためには、地元のまちづくりの専門家である建築士の知恵が必要です。皆さんのお住まいのまちでも、この問題について考えてみませんか？



●あなたが出番●

「釣りにハマる」

板野地域会 大江 欽二郎

徳島に来て30年、とうとう釣りにハマってしまいました。たまにキス釣りやサビキ釣りに行くことはあったけれど、庭いじりや買い物などをして過ごすことが多かったのです。

建築現場での休憩中、職人さんが釣りの話をしているのを聞いて1度行ってみようかと思い、友人を誘ってみました。友人も私と同じくらいの釣り経験がなくて道具を揃えるのも店員さんにあれこれ聞きながら購入しました。前日はYouTubeを見ながら糸を結んだり、リールの巻き方を勉強したりして準備万端。いざ海へ。

朝4時に起きて4時30分に釣り場へ到着。釣り場はすでに猛者たちでいっぱい。ルアーを投げた時、隣の人に糸を絡めてしまうと迷惑をかけるので比較的人の少ない（釣れそうになさそうな浅場）でひっそりと釣り開始。当然なんのあたりもなく7時を迎え「あかん。もう帰ろうか？」と友人と相談していると、多くの猛者たちが帰り支度を始めたのです。「おっと…、釣り場は貸し切り状態！これならどこに飛んでも迷惑をかけることはない」。

釣れそうなポイントに移動し再び釣り開始。30分くらい経過したその時、「ビク、ビクビクビク」ドキッと頭が真っ白になりながら竿を立てると「ぐいぐいぐい」っと引き込まれそうな強烈な手ごたえが…。リールを巻いても巻いても糸が出ていきなかなか巻き取れない。「でかい！」と声を張り上げながら格闘していると、慣れない手つきで友人がタモ網を持ってきました。魚影が見え始めると二人が声を揃えて「でかい！」。小さなタモ網しかなかったため、なかなか網に入りません。やっとのことで網に納まり間近で見ると大きなハマチでした。

その後、友人もハマチを釣り、帰路では興奮が納まらず互いに釣りの話に夢中になっていました。

家へ帰りまたまたYouTubeで魚のさばき方を勉強し、ステンレスの三徳包丁を手にハマチと対峙しますが、動画ではサクサク切れていたのにまったく切れずノコギリで引いているかのように、身はポロポロに。「大工さんが使っているノミやカンナも料理人が使っている包丁もよく切れるなあ」と実感しました。さばき終わった時にはすり身のようになってしまいました。1時間

かかって3枚におろすことができました。その後、簡易に包丁砥ぎができる砥石で切れ味抜群になり、久しぶりに妻に褒められました。

3、4日経っても手にあの感触が残り、うずうずしてスマホで釣果を検索したりしているうちに、「次はいつ行こかな」「潮の動きはどうか」などと友人と相談し始め、その日曜日には、釣り場に立っている私がいまいました。ビギナーズラックも続かずなんの反応もなく釣果無し。それでも、いつかまたあの感触を味わいたい、毎週のように釣り場へ。来る日も来る日も釣果無し。

そんな日が2カ月くらい過ぎ、もう釣れた日の勢いはなく、今日は行くの面倒くさいなと思いはじめていたある日、その時はやってきました。娘を連れて10時位からの釣行でお昼前までは相変わらず反応なし。娘も「もう帰ろ！」「早く帰ってゆめタウンに行こ」と連呼し始めたので、「後10回投げたら帰ろ」と言った3投目に「ズドン！」「来た～」と雄たけびを上げると娘が「え、なにになになに」と目を丸くして駆け寄ってきました。娘はゲームセンターの釣りゲームで豆をつくる位好きなので、竿を娘に預け私はタモ網を持って待機します。「リールが巻けん！」「竿が折れる」と興奮しながら巻いていき見えた魚に娘も私も驚嘆。「めっちゃでかいやん」。メジャーで計ると64cmあり、ハマチから出世したばかりのメジロでした。娘もよほど嬉しかったのかこの時の体験を夏休みの題材にしていました。

釣りは1度はまるとなかなか抜け出せないらしく、仕事に影響が出ないように、自分を抑える過酷な戦いが続いています。



粟津にてメジロ

●士会だよりー会員の栄典●

徳島県知事表彰 中山 茂 様 (阿南・那賀地域会)

おめでとうございます。
今後一層の御活躍を期待しております。

●士会だよりー徳島地域会●

親睦ゴルフ大会のご案内

今年度もコロナウイルスの影響でゴルフ大会の開催が危ぶまれるところでしたが、コロナに配慮しつつ、下記のように開催することとしました。

ご多忙中とは存じますが、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

- ◆日 時：令和4年10月25日(火)
午前9時50分スタート (OUT・IN)
- ◆場 所：サンピアゴルフクラブ 8組
- ◆会 費：5,000円/人
※ 会費は当日集金させていただきます。
プレー費 (9,630円+税) 食事は自己負担にてお願いします。
- ◆競技方法：18ホールストロークプレイ
※ ハンディキャップはダブルベリア方式
- ◆表 彰：競技終了後、コンペルームにて個人戦及び団体戦の表彰を行います。
- ◆申 込：なるべく2人1組にして、9月20日までに徳島地域会本部までお申込みください。
TEL 088-653-7570 FAX 088-624-1710
E-mail niki@chic.ocn.ne.jp

●士会だよりー徳島地域会●

バーベキュー&キャンプ大会のご案内

下記のとおり、令和4年度建築士会バーベキュー&キャンプ大会を開催することになりました。

ふるってご参加してください。

- ◆日 時：7月30日(土)、31日(日)
- ◆場 所：ドミトリー聖ヶ丘
徳島県海部郡美波町木岐927-2
- ◆料 金：宿 泊：大人7,500円 子供5,000円 程度
日帰り：大人4,000円 子供2,000円 程度
※ 料金については参加人数等により多少変動しますのでよろしくをお願いします。
※ 士会会員とその家族以外は会費プラス500円いただきます。
- ◆スケジュール：
30日 14：00 現地集合 (現地散策)
15：00 大人はBBQ準備

建築士会本部行事案内

令和4年7月		令和4年8月	
3日(日) 二級建築士試験 (学科)	(建設センター)	10日(木) 建築相談	(士会会議室)
7日(木) 既存住宅状況調査技術者講習会	(士会会議室)	11日(金)～15日(月) 事務局休業	
13日(水) 建築相談	(士会会議室)	23日(水) 耐震技術者養成講習会 (新規)	(建設センター)
14日(木) 監理技術者講習	(士会会議室)	24日(木) 建築相談	(士会会議室)
24日(日) 一級・木造建築士試験 (学科)	(建設センター)		
27日(水) 建築相談	(士会会議室)		

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。
※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時 (相談時間は1時間以内) に実施しています (要予約)。

16：00頃 バーベキュー開始
31日 10：00頃 現地解散
※ 夜食は、カップラーメン、おつまみ程度を準備いたします。
◆お問い合わせ及び申し込み先
建築士会徳島支部事務局 (TEL：088-653-7570)
もしくは 建築士会徳島支部壮年部 榎野
(TEL：090-8974-6900)

までお願いいたします。
尚、準備の都合がありますので申込期日は、
7月15日(金)までとさせていただきます。

●士会だよりー三好地域会●

ラフティング交流会のご案内

山々が緑色に輝き、吉野川の水がとっても綺麗なシーズンとなりました！

今年も恒例のラフティング交流会を計画しました。大勢の皆さんの参加をお待ちしています

- ◆日 時：令和4年8月20日(土)
(集合：午後1：00 解散：午後4：30～5：00)
- ◆場 所：集合場所 (徳島県三好市山城町大川持574
ビックスマイル阿波川口ベース)
コース (半日コース) 約4キロ
TEL 080-9161-8959
- ◆募 集：12名程度 (2艇)
- ◆参加費：6,980円
※ 装備レンタル・保険料含む
※ 10日前より、キャンセル料が発生します。
※ ラフティング終了後、池田町で懇親会を
午後6：00～予定しております。
- ◆申込み：住所、氏名、年齢、連絡先、懇親会への出席の有無をご記入の上、下記にFAXしてください。
※ 参加者の方には、後日詳細を連絡します。
- ◆申込先：三好地域会事務局 (株)スバル設計内
FAX 0883-77-3112
- ◆締切り：令和4年8月10日(水)
※ 宿泊については、各自でお願いします。

編集後記

- ・今年の総会は久しぶりに懇親会アリ。ウィズアウト・コロナの私は参加しませんでした。来年は行きたい！ (ノーリツ号)
- ・まちかども打上げやりましょう (ちりめん)
- ・するする (ペペい)
- ・やるやる (ひとはたうさぎ)
- ・いくいく (酎西)